

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
正しく安全にご使用していただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

#### 施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の⊘ 禁止、⚠ 注意 の表示箇所は特に重要です。必ずお守りください。  
守れない場合、思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。

#### ⊘ 禁止

- 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。変形や火災の原因となる場合がありますので、火気を近づけたり、車の排気ガス等の高熱が直接あたらないようにしてください。また、シンナーなどの有機溶剤の使用は避けてください。
- 事故などの原因になりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ケガや事故の原因になりますので、製品を破損・変形したまま使用しないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、重い物を乗せたり、寄りかかったり、ぶら下がったり、強い衝撃などを与えないでください。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。思わぬ事故につながり、ケガをするおそれがあります。
- 本製品の強度基準を超えた条件下でのご使用は避けてください。
- 洗浄機での洗浄をおこなう場合は、必ず噴射角を「拡散」にし、目立たない所で試し洗浄をし、問題がないことを確認してからおこなってください。絶対に「直噴」での洗浄はしないでください。パネルが破損する可能性があります。
- 真夏の炎天下での洗浄は避けてください。急激な温度変化によりパネルが収縮する可能性があります。

#### ご使用上のご注意



- 現場塗装タイプの場合、年に2~3回の水洗いをしてください。  
その場合、金属製ブラシや金ペラ等は使用しないでください。表面を傷める可能性があります。  
柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とした後で、水洗いしてください。
- 現場塗装タイプの場合、降雨等で塗面が水分を含むと色ムラが生じることがありますが、乾燥すれば元に戻ります。

# スマート・Fウォール/ユニット角門柱

## 取付説明書


現場貼りタイプ・現場塗装タイプ

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。



安全に関する記号	記号の意味
 <b>警告</b>	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 <b>注意</b>	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

### 運搬及び保管

-  **注意** ●本製品は、パネル等に硬質ポリスチレンフォーム材を使用しています。硬質ポリスチレンフォーム材は、生地の部分が長時間直接太陽光のもとに放置されると紫外線により劣化するおそれがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
- 硬質ポリスチレンフォーム材は80℃以上になると変形します。高温の物や火気が無い場所に保管してください。
- 搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意してください。傷、へこみ、破損の原因になります。
- 当社汎用プライマーは、水性です。凍結させないでください。凍結させると本来の性能を発揮できなくなります。

### 施工上のご注意

-  **警告** ●本製品の施工には専用の柱を使用してください。使用しない場合、反り・割れが生じる場合があります。
  - 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。
  - 本製品の強度基準を超えた条件下でのご使用は避けてください。
  -  **注意** ●正しく施工・組付していただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
  - 本製品の施工につきましては、必ず取付説明書にしたがってください。
  - できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が反ったり伸縮する恐れがあります。
  - 落としたり、物を当てたりしないでください。傷・へこみ・破損の原因となります。
  - 車の排気ガスが直接当たる場所や、エアコンの室外機近くなど高温になる場所への設置はしないでください。変形や破損の原因になります。
  - パネルを持つ際、汚れた手で触ると汚れが付いて落ちにくくなります。ご注意ください。
  - パネルに汚れ等が付いた場合は、中性洗剤を用いて柔らかいブラシ等で洗い流してください。
  - 塗装・接着の際、表面に付着しているごみ・土砂・油分等は除去してください。
  - 特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
  - 基礎部のコンクリートには、急結材や海砂を使用しないでください。柱等の腐食の原因になります。
- 【PSパネル仕上仕様について】**
- ユニット角門柱は、生地仕様のみになります。
  - タイル等の貼り材や現場塗装タイプの仕上げ塗材については、各メーカーの使用上の注意事項も確認してご使用ください。

### 施工上のご注意



#### 注意 【接着剤について】

- 接着剤は当社規格品または、当社推奨品を使用してください。シンナー等を含む溶剤型の接着剤を使用すると硬質ポリスチレンフォーム材が溶解するおそれがあります。
  - 硬質ポリスチレンフォーム材同士を接着する場合  
 [当社規格品] オプション接着剤セット、貼り物用接着剤セット※  
 [当社推奨品] (変成シリコーン系接着剤)  
 コニシ社 MPX-1/コニシ社 エフレックス/セメダイン社 タイルエースPro
  - 硬質ポリスチレンフォーム材に石材等を接着する場合  
 [当社規格品]貼り物用接着剤セット※  
 [当社推奨品]セメダイン社 タイルエースPro/ニッタ工業社 EY-21/コニシ社 エフレックス
- ※上記接着剤は弊社にて接着力を確認しております。  
 ※貼り物用接着剤セットは、タイルの貼付けやアクセントパネルの広範囲貼付けにご使用ください。
- 石材、タイル等の固定は接着剤による貼付けのみになります。
  - 石材、タイル等を接着する場合は、接着剤は全面塗布してください。点付け塗布は避けてください。
  - 接着剤は必ず生地の状態に貼付けてください。汎用プライマーや仕上げ塗材の上に貼付けしないでください。
  - 接着方法は接着剤の施工説明書等に記載された内容に準じておこなってください。

#### 【コーキング材について】

- コーキング材は、必ず当社規格品または変成シリコーン系ノンブリードタイプを使用してください。  
 [当社規格品]…コーキング材セット(ライトグレー)

#### 【汎用プライマーについて】

- 現場で塗装仕上をする場合は、必ず当社規格品の汎用プライマーを施工してください。
- 汎用プライマーは気温5℃以下及び、下地0℃以下での施工を避けてください。
- 汎用プライマーは、塗布した状態で長時間直接太陽光のもとに放置されると紫外線により劣化するおそれがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
- 汎用プライマー無で仕上げ塗材を施工したり、当社規格の汎用プライマー以外を使用しないでください。剥離の原因になります。
- 汎用プライマーには特殊骨材が入っています。塗布前によく攪拌し、ローラーで塗布する場合にもその都度よく攪拌してください。塗ムラの原因になります。  
 擦り付けるように下地になじませ、塗材を置いてくる要領で厚みを持たせて均一に塗布してください。  
 薄すぎたりダマにならないようにしてください。

#### 【下地調整材について】

- 下地調整材は、当社推奨品または日本建築学会規格(JASS15M-102)既調合軽量セメントモルタル適合品を用いてください。  
 [当社推奨品] 四国化成工業社 SKカチオンプラスター弾性タイプ
- 下地調整材の施工を推奨します。下地調整材の施工により仕上げ塗材の膨れ・割れのリスクを低減できます。
- 既調合軽量セメントモルタルを用いる場合は、塗厚5～10mm程度で仕上げ、仕上げ塗材施工前に各塗材メーカー指定のシーラー処理をしてください。
- 下地調整材は当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから施工してください。
- 下地調整材は平滑に仕上げてください。
- 施工方法は下地調整材の施工要領書等に記載された内容に準じておこなってください。

#### 【仕上げ塗材について】

- 仕上げ塗材は当社推奨品の水性塗材を使用してください。シンナー等を含む溶剤型の仕上げ塗材を使用すると硬質ポリスチレンフォーム材が溶解するおそれがあります。  
 [当社推奨品] 四国化成工業社 パレットHG/四国化成工業社 パレットクリームHG/  
 アイカ工業社 ジョリパットアルファ(JP-100)
- PSパネルは断熱性が高いため、仕上げ塗材が濃色の場合は季節を問わず、直射日光が当たると塗材表面が高温になり蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避けるなど、高温にならないための養生を施して塗装をおこなってください。
- 部材間に隙間や段差が生じる場合があります。現場塗装仕上の場合、下地調整材またはコーキング材にて隙間や段差をなくしてから仕上塗装を行ってください。塗装割れや段差の原因になります。

# INDEX

	現場貼りタイプ	現場塗装タイプ
INDEX		1
梱包明細表		1・2
基本寸法図		3
1.組付前の確認		4
1.W03縦型ポストタイプの開口部寸法とポスト取付前の寸法確認		4
2.基礎工事		4
1.柱の建込み		4
3.本体の施工		5・6
1.W03縦型ポストの組付		5
2.PS笠木の組付		5
3.天面塞ぎ材の組付		6
4.タイル等の貼付け	6	—
5.アクセントパネルの貼付け		7
1.アクセントパネルの加工 (参考例)		7
2.カット後のアクセントパネルの貼付け方法		7
6.現場塗装仕上げ手順	—	8・9
1.目地テープの貼付け	—	8
2.汎用プライマーの塗布	—	8
3.下地調整材の施工	—	8
4.仕上げ塗装の施工	—	9
5.ポストとユニット角門柱本体の隙間処理	—	9

## 梱包明細表

### ユニット角門柱本体セット (W04・W03)

名称 部材・部品	略図	員数
ユニット角門柱本体(生地)	<p>W04      W03      W03 縦型ポストタイプ</p>	1
天面塞ぎ材(生地)		1
φ4×45サラダリルネジ		4
φ4×13トラスドリルネジ		4※
接着剤	10ml	1
取扱・取付説明書		1

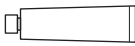
※縦型ポストタイプのみ

### PS笠木 (W04・W03)


名称 部材・部品	略図	員数
PS笠木(生地)		1

## 梱包明細表〈現場貼りタイプ〉

### ■接着剤セット



名称 部材・部品	略図	員数
接着剤	 135ml	1

### ■貼り物用接着剤セット


名称 部材・部品	略図	員数
貼り物用接着剤	 2kg	1

## 梱包明細表〈現場塗装タイプ〉


### ■汎用プライマー(100ml)・刷毛セット

名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー(100ml)	 100ml	1
刷毛		1


### ■汎用プライマーセット(1.5Kg)

名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー(1.5Kg)	 1.5Kg	1

### ■汎用プライマーセット(15Kg)

名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー(15Kg)	 15Kg	1
取付説明書		1

### ■汎用プライマー用ローラー刷毛(1本入り)

名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー用ローラー刷毛(6インチ)		1

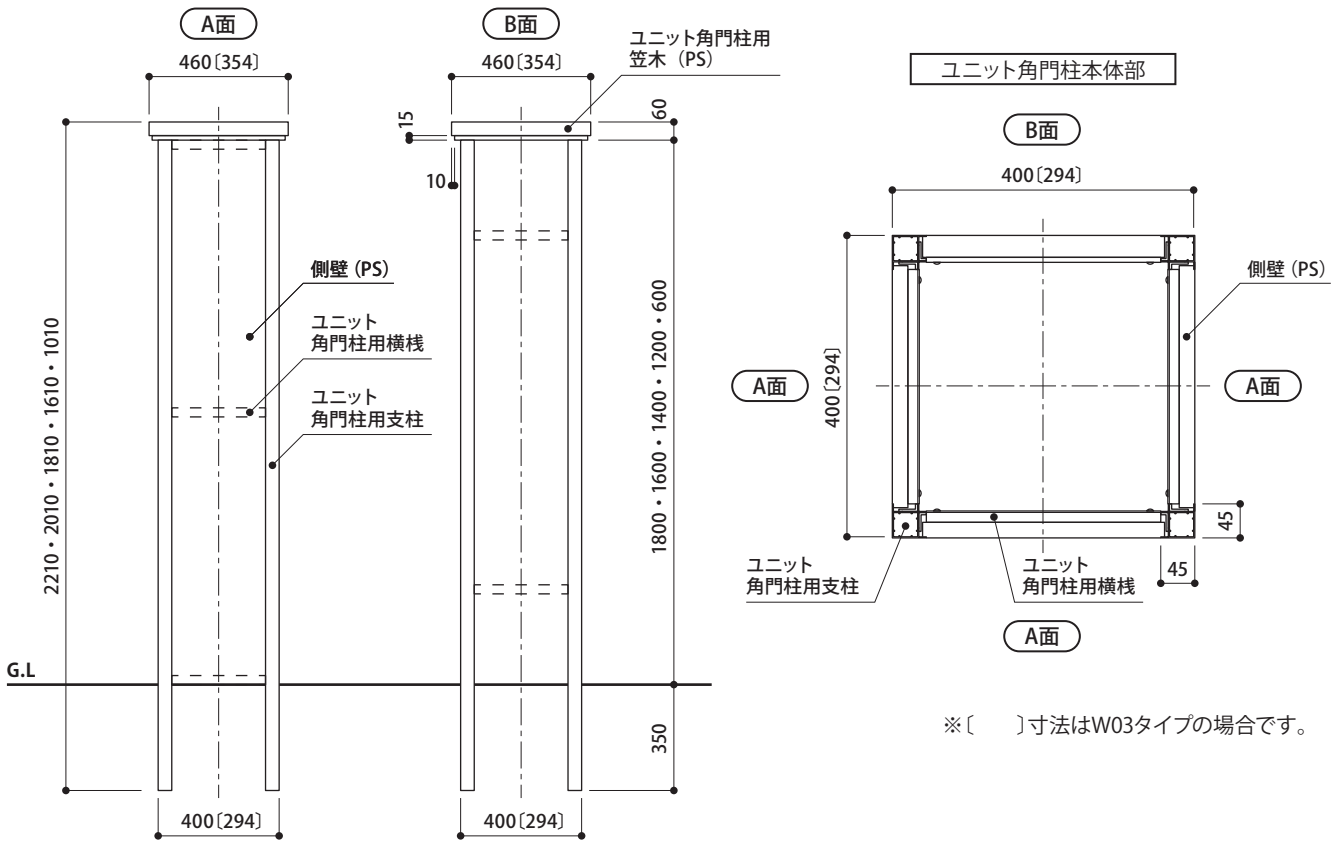
### ■SKカチオンプラスター弾性タイプ

※ハンドルは付属しません

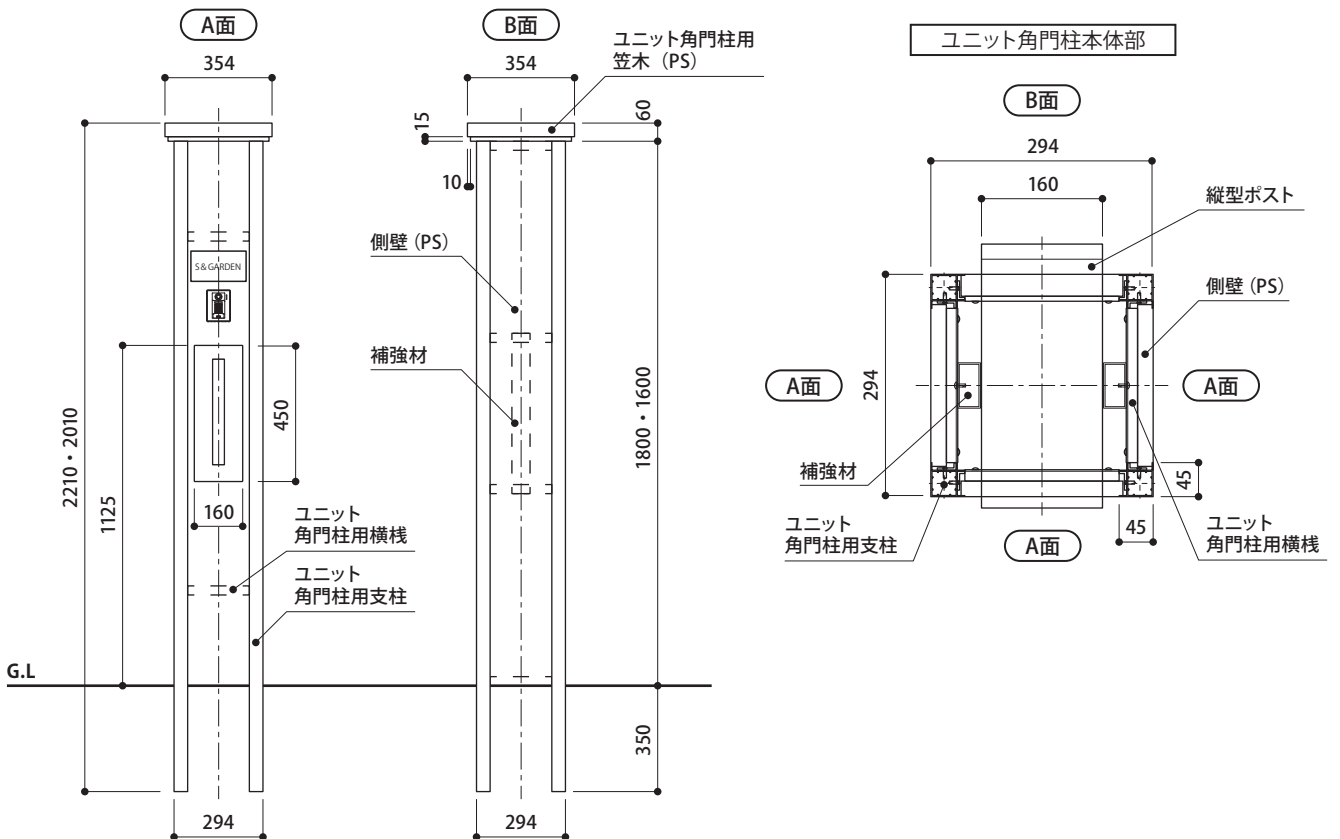
名称 部材・部品	略図	員数
SKカチオンプラスター弾性タイプ(20Kg)	 20Kg	1

# 基本寸法図〈現場貼りタイプ・現場塗装タイプ〉

## W04・W03タイプ (H06・H12~H18)



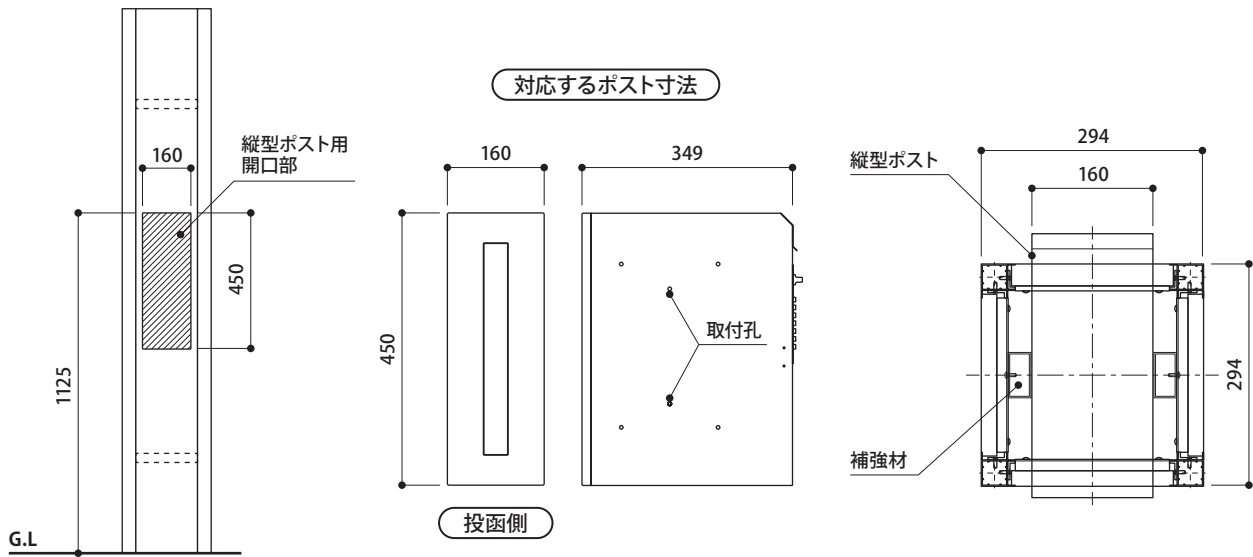
## W03縦型ポストタイプ (H16・H18)



## 1.組付前の確認〈現場貼りタイプ・現場塗装タイプ〉

### 1.W03縦型ポストタイプの開口部寸法とポスト取付前の寸法確認

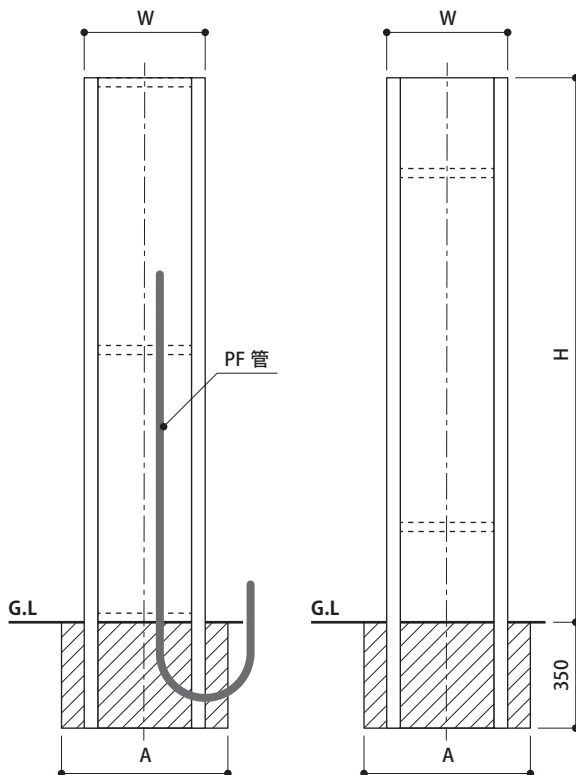
※開口寸法は160×450mmです。パネルの開口部に取付ポストの口金部が挿入できるか、ポストの口金寸法を確認してください。ポストが補強材に固定できるか取付孔の位置を確認してください。



## 2.基礎工事〈現場貼りタイプ・現場塗装タイプ〉

### 1.柱の建込み

- ①ユニット角門柱本体の水平と垂直を出し、ユニット角門柱本体が動かないように固定してください。
- ②基礎部は表記寸法の大きさのコンクリートで固定してください。
- ③基礎が固まるまでは、ユニット角門柱本体を養生してください。



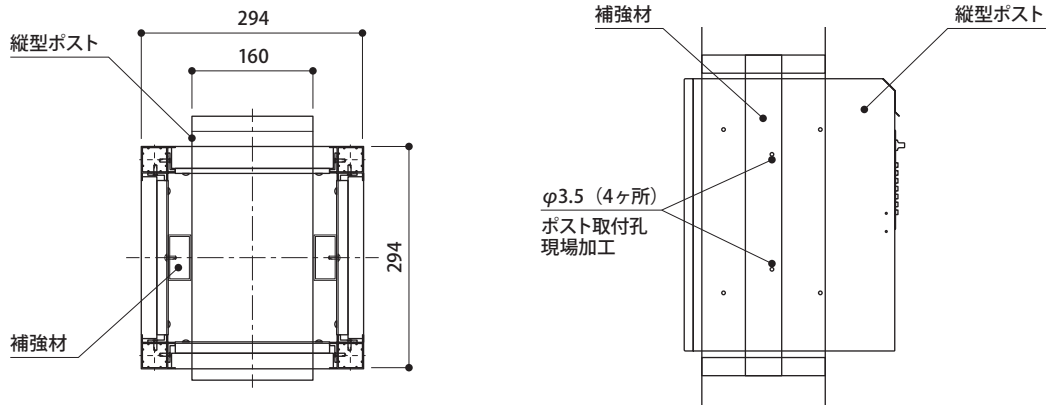
サイズ(mm)	W	H	A
W04	400	1800	550
		1600	
		1400	
		1200	
		600	
W03	294	1800	450
		1600	
		1400	
		1200	
		600	

- ⚠ 注意** ※電気配線が必要な場合は、コンクリートの打設の前に市販のPF管を必要数設置してください。
- コンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系やアルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤・凝固促進剤・急結剤）などは使用しないでください。  
アルミなどの金属が腐食する原因となります。非塩素系または非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
  - 指定基礎寸法は必ず守って施工してください。

### 3.本体の施工〈現場貼りタイプ・現場塗装タイプ〉

#### 1.W03縦型ポストの組付

①下図のように縦型ポストの側面の取付孔に合わせ、補強材にφ3.5の孔を両面合計4ヶ所あけてください。



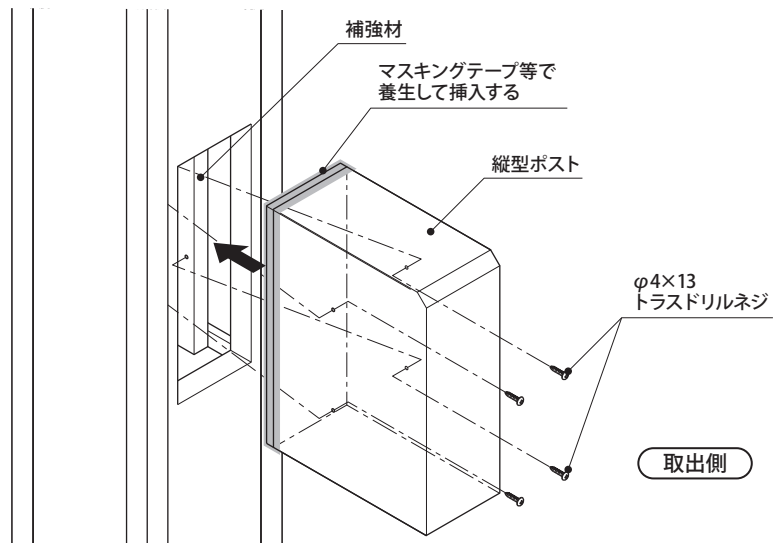
②下図のように開口部に縦型ポストを挿入し、φ4×13トラスドリルネジでポストを取り付けてください。

#### ご注意

現場塗装仕上でのポストの取り付けは、塗装後に行ってください。  
 ポスト取り付け後に塗装を行う場合は、ポストの周りの隙間をコーキングで埋め、塗装用に養生して行ってください。  
 (P.9参照)

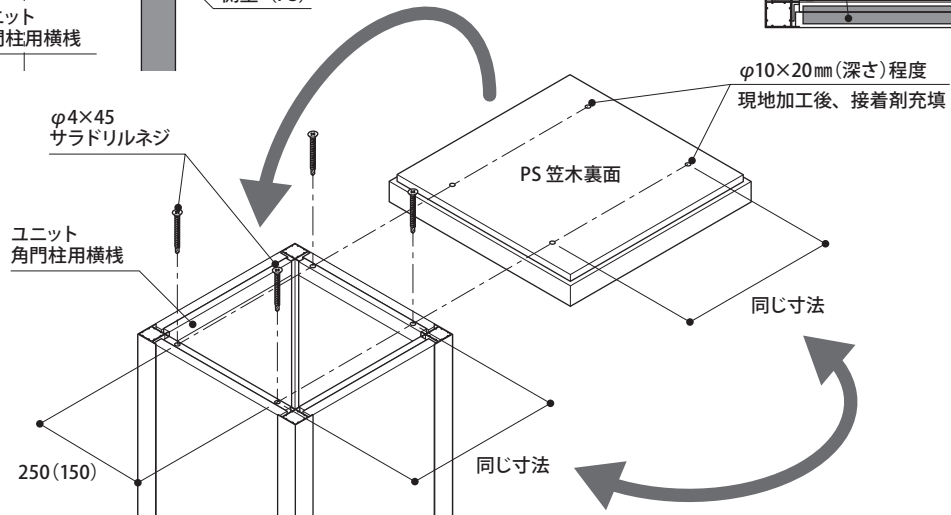
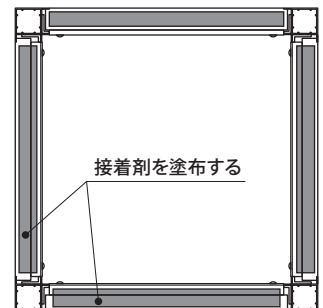
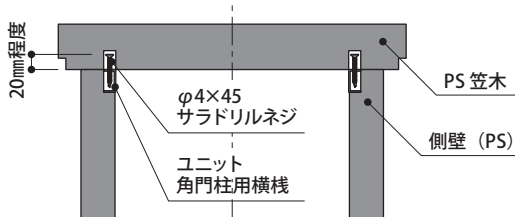
投函側

■ マスキングテープ等



#### 2.PS笠木の組付

- ①ユニット角門柱の上面のユニット角門柱用横棧に、φ4×45サラドリルネジを20mm程度残して取り付けてください。
- ②PS笠木の裏面のネジ孔と同じ位置に、φ10深さ20mm程度の孔をあけてください。
- ③ユニット角門柱の上面に接着剤を塗布し、孔に充填してPS笠木を貼り付けてください。



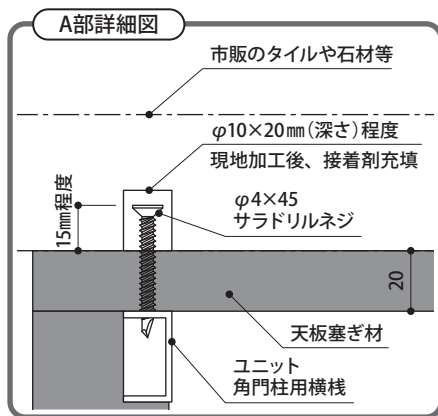
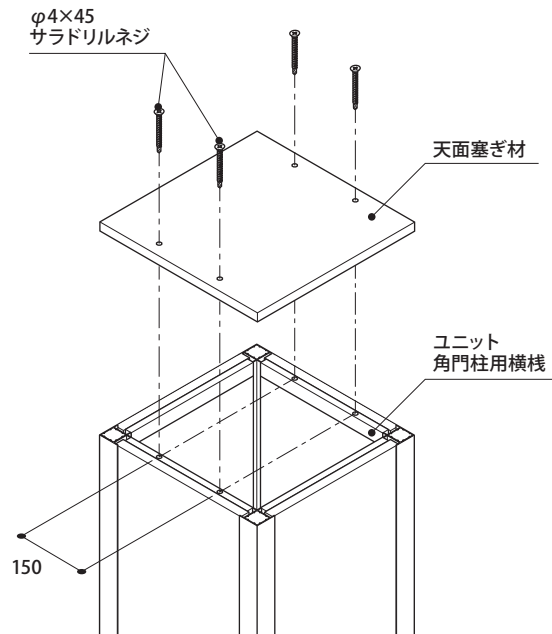
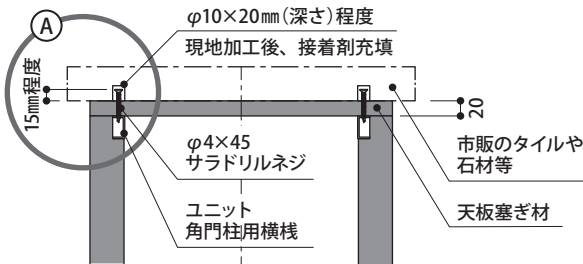
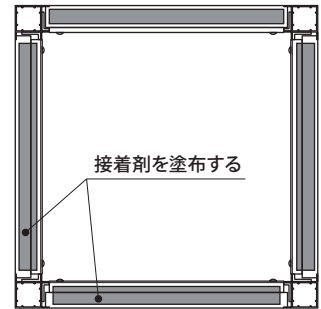


### 3.本体の施工〈現場貼りタイプ・現場塗装タイプ〉

#### 3.天面塞ぎ材の組付

●市販のタイルや石材笠木を取り付けの場合、天面塞ぎ材を取り付けてください。

- ①ユニット角門柱の上面に接着剤を塗布し、天面塞ぎ材を貼り付けてください。
- ②下図のように15mm程度残してφ4×45サラドリルネジを取り付けてください。
- ③タイルや石材笠木がネジと接触する部分にφ10×20mm深さの孔をあけ、天面塞ぎ材の全面に接着剤を塗り、貼り付けてください。



#### 4.タイル等の貼付け〈現場貼りタイプ〉

現場貼りタイプの場合、下記を参照して貼り付けてください。

- 生地のパネルに接着剤で貼り付けてください。
- 本仕様では、H1600以下で70kg/m<sup>2</sup>、H1800で40kg/m<sup>2</sup>の重量まで貼り付けできます。
- 接着剤は当社規格品「貼り物用接着剤」または当社推奨品を使用し、くし目ごてを用いて全面に塗布してください。  
[当社規格品] 貼り物用接着剤セット  
[当社推奨品] セメダイン社 タイルエースPro/ニッタイ工業社 EY-21/コニシ社 エフレックス
- 石材・タイル・ボード等の貼付け方法は、それぞれの商品の取付説明書に準じて行ってください。

※部分的に現場貼りタイプの場合は、塗装する部分にのみ目地テープ・汎用プライマーの塗布をしてください。

#### 注意事項

- 制限重量以上の石材・タイル等の貼り付けはしないでください。
- 石材・タイル等の固定は、接着剤による貼り付けのみになります。金具・モルタル等による貼り付けはできません。
- 接着剤は全面接着で貼り付けてください。
- 接着剤が硬化する前に石材等の貼り材を貼り付けてください。  
(接着剤の塗布量・硬化時間は接着剤の取付説明書を参照してください。)
- シンナー等を含む溶剤型の接着剤は使用しないでください。

## 5.アクセントパネルの貼付け〈現場貼りタイプ・現場塗装タイプ〉

### 1.アクセントパネルの加工 (参考例)

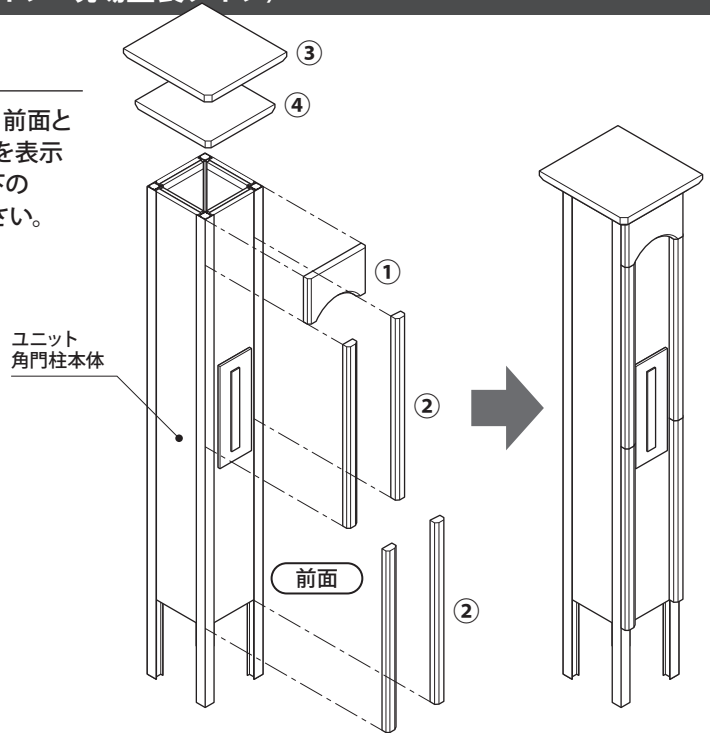
●右図はユニット角門柱W03×H18・口金ポスト(縦型)の、前面と上面にアクセントパネル+30をカットして貼り付けた例を表示しています。アクセントパネルのカット部材①～④は、下の「アクセントパネルのカット要領図」を参考にしてください。

#### ご注意

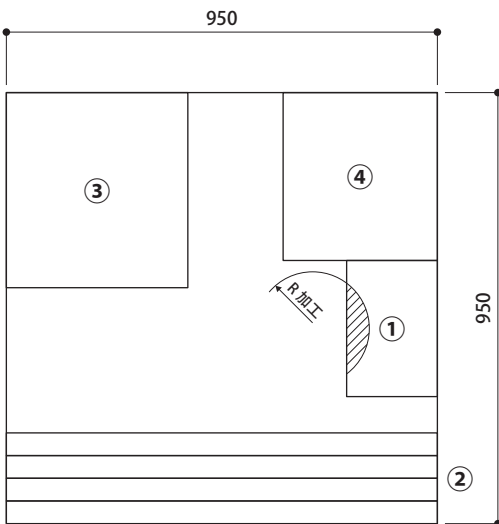
アクセントパネルの貼付け内容は参考例です。ユニット角門柱のサイズやアクセントパネルの貼付けレイアウトにより、アクセントパネルの必要数やカット内容が異なります。ご注意ください。

#### ご注意

現場塗装仕上をする場合は、目地テープ・汎用プライマーの塗布前にアクセントパネルを貼り付けてください。

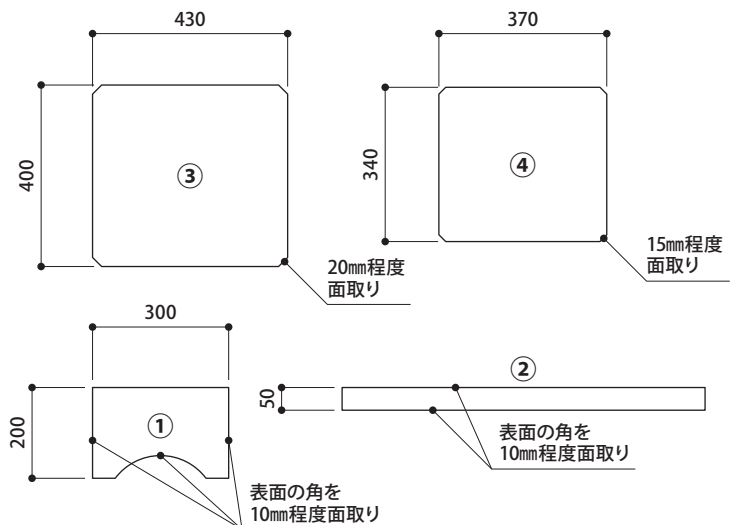


アクセントパネルのカット要領図



※①～④のカット寸法は参考としてください。

カット寸法は、ユニット角門柱のサイズやアクセントパネルの貼付けレイアウトに合わせ、寸法を調整してください。



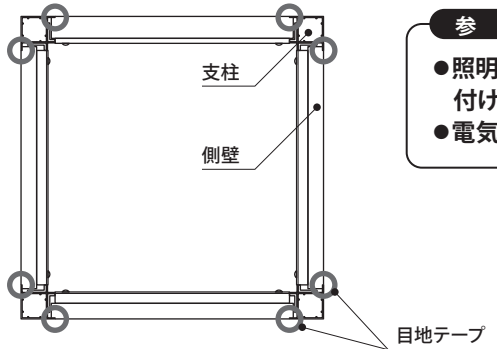
### 2.カット後のアクセントパネルの貼付け方法

- アクセントパネル同梱の取付説明書を併せてご確認ください。
- ①と②は、接着剤でユニット角門柱の本体前面に貼り付けてください。  
※同梱の接着剤では足りなくなります。別途接着剤を購入してください。  
※接着剤が固まるまでにずれるようならば、アクセントパネルに同梱のネジで仮止めしてください。
- ③と④は接着剤で貼り合せて、ユニット角門柱の上面に取り付けてください。  
本取付説明書P.5の「3-2.PS笠木の組付」を参照してください。
- 現場塗装仕上の場合、アクセントパネルをカットした各部材を貼り付け後、本体と各部材の接合部には目地テープを貼り、汎用プライマーを塗布してください。  
本取付説明書P.8の「6-1.目地テープの貼付け」～P.9「6-4.仕上げ塗材の施工」を参照してください。

## 6.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ〉

### 1.目地テープの貼付け

- ①ユニット角門柱用支柱と側壁の継目（接合部）に目地テープを貼り付けてください。  
目地テープの貼り付け後は、速やかに汎用プライマーを塗布してください。  
現場貼りタイプの場合は必要ありません。
- ※アクセントパネルを貼り付ける場合、本体の接合部と一緒にアクセントパネルの接合部にも目地テープを貼り付けてください。  
アクセントパネル同梱の取付説明書を併せてご確認ください。

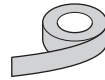


#### 参照

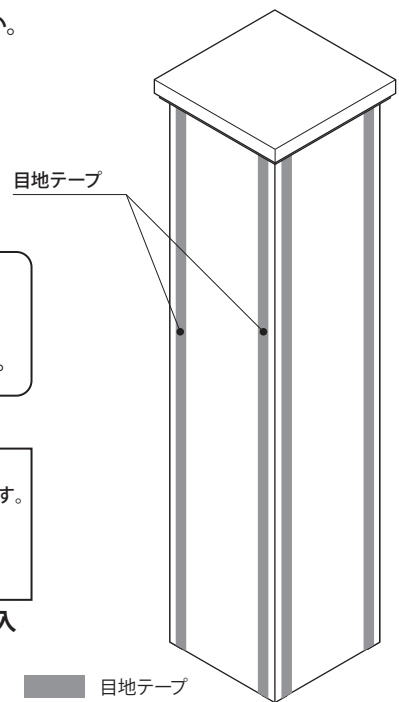
- 照明・インターホンは、塗装後に取り付けてください。
- 電気配線は、塗装前に行ってください。

#### 目地テープ

内側に粘着剤が付いています。



※目地テープは別途購入してください。

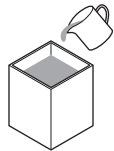


目地テープ

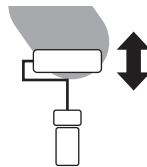
### 2.汎用プライマーの塗布

- 塗装仕上げをする部分に、当社規格の汎用プライマーを塗布してください。
- ※汎用プライマー無で仕上塗装したり、当社以外のプライマーを使用すると剥離の原因になります。
- ※汎用プライマーは成分の骨材が沈殿しますので、よく攪拌してください。
- 目地テープが浮かないように注意してください。
- 十分に乾燥してから次の工程に移ってください。

汎用プライマーは骨材が大きく粘度があります。温度により塗装しづらい場合もあります。  
清水もしくは水道水で0~3%に希釈し、十分に攪拌してご使用ください。  
1.5kgの場合は清水0~45cc  
15kgの場合は清水0~0.4ℓ



汎用プライマーは擦り付けるように下地になじませ、塗材を置いてくる要領で厚みを持たせて、塗布してください。



部材名	梱包名称
汎用プライマー (100ml) 刷毛	汎用プライマー (100ml)・刷毛セット
汎用プライマー (1.5kg) 汎用プライマー (15kg)	汎用プライマーセット (1.5kg) 汎用プライマーセット (15kg)
汎用プライマー用 ローラー刷毛 (6インチ)	汎用プライマー用ローラー刷毛 (1本入り)

- 付属の汎用プライマー100mlで約0.2~0.3㎡塗布できます。
- 汎用プライマー1.5kgで約2~3㎡塗布できます。
- 汎用プライマー15kgで約20~30㎡塗布できます。  
塗装する面積に応じて汎用プライマーセット (100ml・1.5kg・15kg) から選択してください。
- 1.5kg・15kgの汎用プライマーセットには刷毛は付属されていません。別途手配してください。

### 3.下地調整材の施工

- 当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから下地調整材を施工してください。この時、段差や隙間は埋めて平滑に仕上げてください。部材間の隙間にはコテ圧をかけて充填しながら施工してください。
- 下地調整材は当社推奨品または、日本建築学会規格 (JASS15M-102) 既調合軽量セメントモルタル適合品を用いてください。既調合軽量セメントモルタルを用いる場合は、塗厚5~10mm程度で仕上げてください。

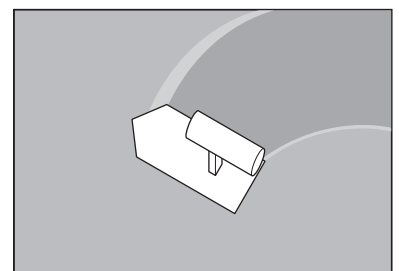
#### ■下地調整材 [当社推奨品]

四国化成工業社 SKカチオンプラスター弾性タイプ

- 養生期間は、1~2日程度必要です。標準塗厚は1~2mmです。
- SKカチオンプラスター弾性タイプ1袋 (20kg) で10~20㎡施工できます。

- ※当社汎用プライマーの上に、各軽量セメントメーカーのシーラー・吸水調整材を塗布することは避けてください。
- ※下地調整材の上に、重量タイル等の貼り付けは避けてください。
- ※軽量セメントモルタル仕上げのみの場合、P.9「6-4.仕上げ塗材の施工」はありません。

部材名	梱包名称
SKカチオンプラスター弾性タイプ (20kg)	SKカチオンプラスター弾性タイプ



#### ご注意

下地調整材は、各メーカーの施工要領を守って施工してください。

## 6.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ〉

### 4.仕上げ塗材の施工

- 仕上げ塗材を施工してください。塗材は当社推奨品を使用してください。下地調整材に軽量セメントモルタルを用いる場合、仕上げ塗材の前に各塗材メーカー指定のシーラー処理をしてください。
- PSパネルは断熱性が高いため、塗材が濃色の場合は季節を問わず、直射日光が当たると塗材表面が高温になり蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避ける等、高温にならないための養生を施して塗装をおこなってください。

#### ■仕上げ塗材 [当社推奨品]

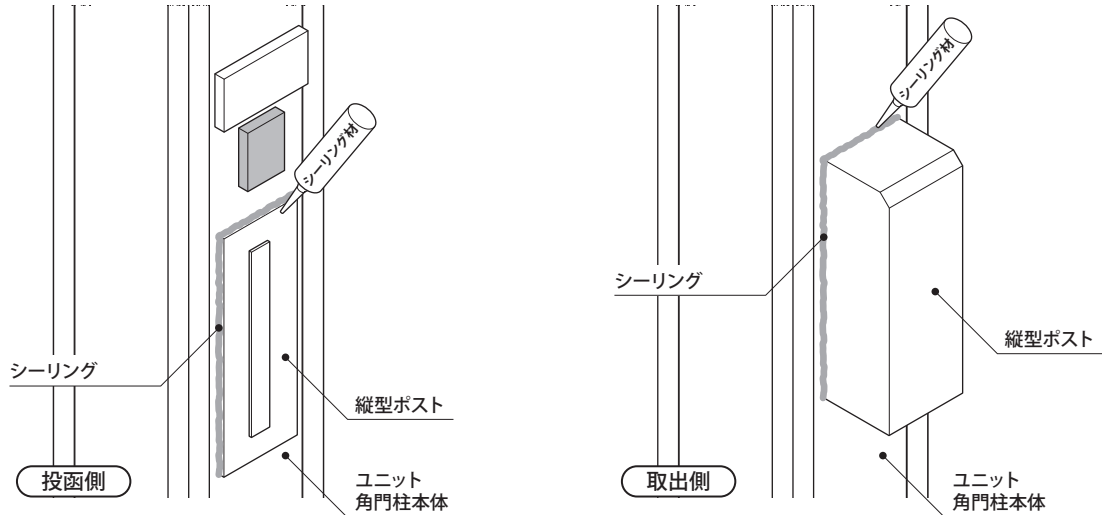
四国化成工業社 パレットHG・パレットクリームHG  
アイカ工業 ジョリパットアルファ (JP-100)

#### ご注意

仕上げ塗材は、各メーカーの施工要領を守って施工してください。

### 5.ポストとユニット角門柱本体の隙間処理

- ①取り付けたポストとユニット角門柱本体の隙間は、シーリング材で塞いでください。シーリング材には、変性シリコン系コーキング材(ノンブリードタイプ) をご使用ください。マスキングテープ等を使用すると仕上がりもきれいになります。



取扱い店名